

第19回あわら市子ども・子育て会議録

1 日 時：令和2年9月4日（金）19時15分～20時15分

2 場 所：あわら市役所 101会議室

3 出席者

(1) 委員

森俊之委員（会長）、西川清美委員、中嶋千津委員、高橋望委員、番匠裕美子委員、畑中光委員、清水則隆委員、渡邊一幸委員、先川原八千代委員、野尻都希子委員

《欠席者》五十嵐美根子委員

(2) 事務局

《子育て支援課》

中道佐和子課長、村中直子子育て支援GL、小林拓巨主査

4 議題

(1) 令和3年度 各認定こども園定員について

(2) 子ども・子育て支援各事業の令和元年度実績及び令和2年度進捗状況

(3) その他

5 承認事項

会議の経過

○事務局（開会あいさつ）

（委員自己紹介）

（会議の趣旨について説明）

（会長及び副会長の選出）

満場一致で、会長に森俊之氏、副会長に西川清美氏を選出

それでは、森会長より、一言ご挨拶をお願い致します。

○会長（あいさつ）

○事務局 ここからは規定により、森会長に議事進行をお願いいたします。

○議長（会長）議題に従い、進行する。はじめに、協議事項（1）令和3年度各認定こども園の定員について、事務局より説明をして下さい。

○事務局 【協議事項（1）について、資料に基づき説明】

- 渡邊委員 よく考えないといけない部分があると思う。出生に関して、出生数の見込みはどうか。横ばいか。
- 事務局 横這い見込み。
- 渡邊委員 8月と3月、両方で充足率が低いところをよく考えなくてはならない。少し下げてもいいのかなという印象を受ける。ギリギリにする必要もないと思うが、10人くらい減らしても大丈夫かなと思います。芦原地区でいうと、芦原こども園が3月時点で84.9%の充足率で、これでいいのかなと思う。あくまでも印象だが。
- 事務局 昨年度末で参考だが、同じ定員で充足率92.5%となっている。年度によっても多少のばらつきがある。
- 渡邊委員 急な転入に対する受け入れまではなかなか見込めない。現状の見込みでは3月末に84.9%よりももう少し上がると思われる。
- 渡邊委員 急な転入にも対応できる余裕を持たせているということか。職員の配置上の問題というのはないのか。
- 事務局 配置上は定員に合わせてあるので、問題はない。公立の場合、医療的な配慮を要するお子さんがいた場合にも対応することがある。転入の場合に私立園で120%程度2割の範囲内でも受け入れてしまっている場合がある。その場合、公立で受けざるを得ない。今のところ出生の見込みは150~160とみているが、この先、出生が横ばいではなく減っていくようであれば、定員も見直す必要が出てくるかもしれない。
- 渡邊委員 色々なことを含めて少し余裕を持たせているということか。了承。
- 議長（会長） 他にないか。質問でもあれば。
- 先川原委員 8月末現在の数字で0歳児は71.4%だが、3月末の見込みでは142.9%となっている。これは、今年生まれた子どもを年度途中から預けたいという希望があって、園とも受け入れ可能かを確認したうえで受け入れる予定となっているということか。
- 事務局 そういう形となっている。
- 議長（会長） 先ほどの事務局説明にもあったとおり、園の定員については、この会議で皆さんの意見をもらうこととなっている。充足率から見て、少し減らしてもと意見があったが、やや余裕を持たせた形で運用しているという説明があったところ。長期的にみて、出生数の減少などがあれば、減らしていく見込みとのことだったが、他になにかないか。

- 議長（会長） なければ、来年度に関しては事務局提案どおりとしてよろしいか。
- 委員全員 了承。
- 議長（会長） 協議事項（1）については、原案どおりで。続いて、協議事項（2）子ども・子育て支援各事業の令和元年度実績及び令和2年度進捗状況について、事務局より説明をして下さい。
- 事務局 【協議事項（2）について、資料に基づき説明】
- 渡邊委員 2ページⅢ－2 子育てについての意識啓発という部分で、絵本を贈ると書いてあるが、これは郵送で送られてくるのか。
- 事務局 5、6か月児向けのもぐもぐ教室という離乳食の教室などで、育児相談を行っており、その際に贈っている。図書館の事業になるが、読み聞かせのボランティアなどが来て読み聞かせをした後、本をプレゼントするという事業。
- 渡邊委員 図書館に親御さんが来る。
- 事務局 離乳食の育児相談なので、保健センターに来る。
- 渡邊委員 どちらにせよ、親が出向いたところでもらう。
- 事務局 もぐもぐ教室を欠席した場合は図書館に貰いに行ってもらおう。対象児童には配ることができている。
- 渡邊委員 越前市は取りに来させる形でやっていて、取りに来ない家庭もある。あわら市でも渡せない家庭はどれくらいあるのか。
- 事務局 ほぼ来ていて、渡せている。もぐもぐ（離乳食）教室にはほぼ来る。万が一欠席しても図書館には取りに来ている。一昨年、1件だけ渡せない家庭があったが、訪問して渡したことがあった。
- 渡邊委員 そのあたりはしっかりやられているということか。
- 事務局 できていると思われる。
- 番匠委員 1ページⅠ－2 教育相談の充実の部分で、ライフパートナー事業とあるが、おそらくあわら市は福井大学の事業であるライフパートナー事業からは撤退していると思われる。今の事業名は心のパートナー事業となっている。
- 事務局 事業名を確認して、訂正する。
- 清水委員 基本目標Ⅳ－2 遊び環境の整備だが、トリムパークや金津創作の森について、草などがひどいという話を聞く。それはどの課に言うべきなのか。遊びに行ったが、草がひどくて遊べなかったというような話を聞く。
- 事務局 施設によって担当が異なる。トリムパークならスポーツ課になる。創作の森ならば創作の森財団になる。

- 清水委員 せっかくいいものがあるのに、遊べないと言われると、もったいないという感覚がある。
- 渡邊委員 5ページのところで放課後子どもクラブで、高学年に受け入れは大丈夫なのか。
- 事務局 各クラブにより異なるが、受け入れ超過となっているところもある。地域によりばらつきがある。
- 渡邊委員 子どもクラブは定員に対しての面積は大丈夫なのか。
- 事務局 ざっくりはあるが、こども園ほど厳しい制限はない。ただ、コロナのこともあり、密になるのは避けたい。居室を増やすことを検討したり、環境面を整えて、過ごし方で密にならないようにしている状態。
- 渡邊委員 今後も、地域によってはどんどん増えてくるということか。それに対する対応というのは近い将来に向けて考えていかななくてはならない。
- 事務局 今後の課題だと考えている。地域に残る子どもが少なくなってきていて、クラブの人数がどんどん増えている部分もある。支援員の確保と設備の問題がある。
- 渡邊委員 広さももちろんだが、支援員の確保も大変だと思う。
- 畑中委員 うちちょうど子どもクラブをやめた。人数も多いし、大きい子ども多くて、場所もちよっと狭い。
- 事務局 芦原か。
- 畑中委員 芦原。
- 事務局 芦原が一番課題だと考えているところ。
- 渡邊委員 耐震などは大丈夫か。
- 事務局 問題ない。
- 高橋委員 放課後子どもクラブをうちの子どもも利用している。高学年が増えるなど、支援員の対応でも色々なことがある。
- 事務局 個別の相談であれば、別の機会にゆっくりお聞きする。支援員の募集も大変だが、雇用しているからには、研修等も必要だと考えている。
- 議長（会長） この資料の分析だが、わかりにくいところがある。少なくとも担当の部署ごとに評価した達成度の%は明示すべきでは。この部分がまだできていなくて、足りていないということを示せばわかりやすいのでは。ここが課題だ。ここはできているということがわかれば。
- 事務局 表現を工夫する。

- 渡邊委員 参考だが、数値化するというのは大事なのでは。先ほどのブックスタートなど、ほぼ配れたということであれば 100%となる。こういった表現が分かりやすさにつながる。
- 事務局 指標として数字を加えられる項目は加えて表現する。
- 議長（会長） お願いします。（3）その他として、何かないか。
- 議長（会長） 全体を通して、何かご意見あれば。他になければ、これで終了としたい。
- 委員全員 了承。
- 事務局 （閉会あいさつ）